

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>学校教育目標実現のために、〔希望〕〔幸福〕〔他愛〕あふれる、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが、日々の授業や様々な行事等において、主体的に課題を解決する学びを大切に、授業力の向上に取り組みます。 一人ひとりの子どもに寄り添い、互いを認め合う心、豊かな心、そして、たくましく健やかな体を育むように努めます。 一人ひとりの子どもの学びと生活を支える教育環境の整備、改善を進めます。 一人ひとりの子どもが、地域の行事や交流活動を通して、まちに貢献する心を育みます。また、近隣の幼保小中高大学連携を進め、教育活動の充実を図ります。 	

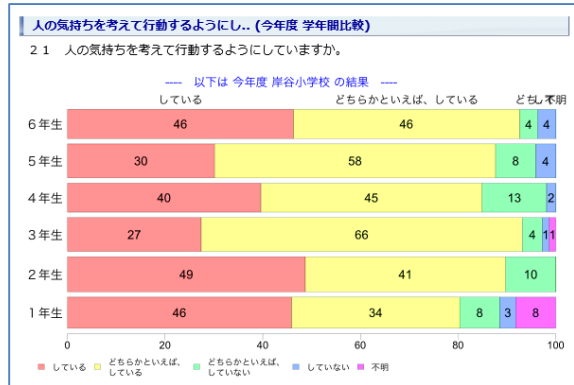
(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		<p>道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にする心情や態度を育みます。</p>	<p>平和スピーチコンテスト、人権トークを柱に、人を思いやることなど、人権について自分事として考えていける態度を育みます。また、道徳の授業を年に1回以上授業参観にて公開することで、職員の意識を向上させるとともに、保護者や地域の方にも学校での取り組みをご理解いただき、連携して教育活動に取り組んでいきます。</p>
担当	人権教育 道徳		

2 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

協調性のある一方で、友達に同調してしまうあまり、自分の主張を遠慮してしまう姿が見られる。よいことは一人でもやり、いけないと思ったことは一人でもやめるといったような強さやたくましが課題だと考える。

平成27年度実施の横浜市学力・学習状況調査生活意識調査結果より、人の気持ちを考えて行動するようにしているかという質問項目に対して多くの児童が肯定的回答をしている。意識はしているが実際の行動として伴わない面も見受けられる。友達とのトラブルなど、日常生活の問題を解決していくソーシャルスキルも必要。



3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

☆ 道徳教育の要となる「道徳の時間」の指導を通して、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようする。

- 全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。
- 学校掲示板、学校だより等を通じて、道徳教育の取り組みを家庭・地域に発信する。

指針2 体験活動の充実

- 高学年児童を中心に、あいさつ運動や震災・ユニセフ募金活動に取り組む。
- 地域行事（清掃、岸谷祭り、バザー等）への積極的に参加する。